

『次世代の基礎医学研究を担うあなたへ』

第11回Clinical & Basic Research Forum

～Web同時配信～

日時：令和4年7月16日(土) 17:00～

会場：ホテル ザ マンハッタン

千葉県千葉市美浜区ひび野2-10-1 TEL: 043-275-1111

PROGRAM

【開会の辞】17:00～

千葉大学大学院医学研究院 代謝生理学 教授 三木 隆司 先生

【症例報告】17:05～

座長 国際医療福祉大学 血液内科学 主任教授 中世古 知昭 先生

「慢性好中球性白血病の病型移行と急性転化に関与する原因遺伝子の探索」

千葉大学医学部附属病院 血液内科 鎌田 百合 先生

【研究報告】17:20～

座長 千葉市立青葉病院 院長 山本 恭平 先生

「小胞体ストレスが早老症ウェルナー症候群の老化促進に与える影響の解明」

千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学 金子 ひより 先生

【特別講演Ⅰ】17:45～

座長 千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学 准教授 小野 啓 先生

「糖尿病神経障害の診断と治療の秘訣」

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 医歯学教育開発センター センター長

社会・行動医学 医歯学教育学講座 教授 横尾 英孝 先生

【特別講演Ⅱ】18:30～

座長 千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学 教授 横手 幸太郎 先生

『がんゼロ社会の実現に向けたPre-Cancerの診断と治療戦略』

東京医科大学 分子細胞治療研究部門 教授 落谷 孝広 先生

【閉会の辞】19:30～

千葉大学医学部附属病院 血液内科 診療教授 堺田 恵美子 先生

【落谷 孝広 先生ご略歴・ご紹介文】

1988年：大阪大学大学院博士課程修了（医学博士）、同年大阪大学細胞工学センター文部教官助手、1991年：米国ラホヤがん研究所（現・SFバーナム医学研究所）ポスドクフェロー、1992年：国立がんセンター研究所主任研究員、その後、同分子腫瘍学部室長、がん転移研究室独立室長を経て、2010年：国立がん研究センター研究所分子細胞治療研究分野、分野長、2018年よりプロジェクトリーダー、2019年より客員研究員となる。2018年4月より現職：東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門 教授。早稲田大学客員教授、星薬科大学客員教授、昭和大学歯学部客員教授、慶應大学薬学部客員教授を兼任。2017年より国立台湾大学の特別教授に就任。また、2018年より国立医薬品食品衛生研究所の客員研究員に就任。この間、井上財団研究奨励賞、国立がんセンター田宮賞、日経BP技術賞、日本再生医療学会優秀演題賞2回、日本人工臓器学会オリジナル賞などを受賞。また平成30年度、文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム「秀でた利用成果」優秀賞を受賞。平成31年4月ISEV2019にてSpecial Achievement Awardを受賞。令和元年度 高松宮妃癌研究基金学術賞受賞。現在、日本癌学会評議員、日本血管生物医学学会評議員、JSEV（日本細胞外小胞学会）理事長、エクソソーム国際協会のオフィシャルジャーナルJEVのAssociate Editor、Cancer ScienceのAssociate Editorなど学会・研究会の役員を務める。Web of Science が発表する世界の論文高引用率研究者1%に2019年、2020年、2021年と3年連続で選ばれる。